

最上町 議会だより



神楽 無病息災を願い！

～あたごども園のみなさん～

新年を語る...2 12月定例会...3 議案審議...4 一般質問...6

所管事務調査...8 高校生こども議会...9 編集後記...10

12月
定例会
10日～12日

平成26年度の一般会計・特別会計

3億713万円 追加補正予算可決

一般会計 (単位:万円)

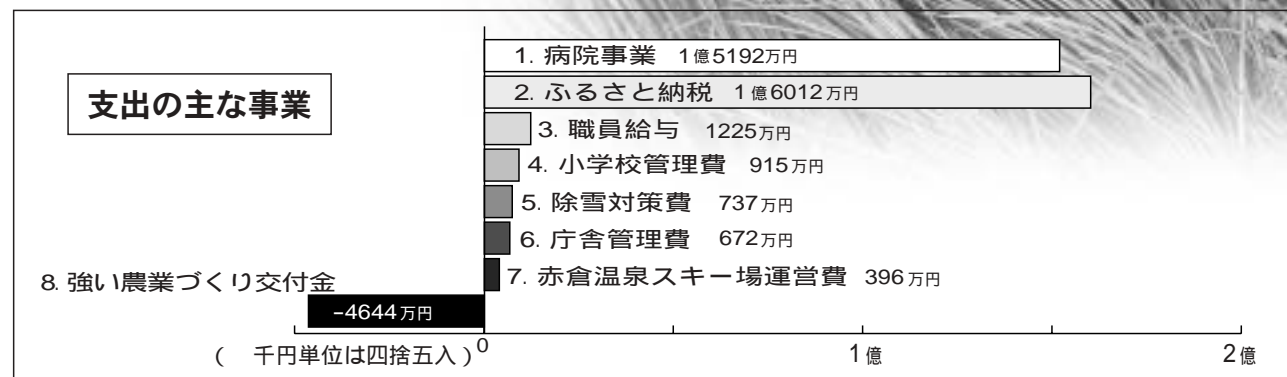
項目	補正額
1 地方交付税	4376
2 負担金	132
3 国庫補助金	△7395
4 県補助金	381
5 財産売却収入	1027
6 寄付金	1億0000
7 雑入	1551
8 町債	760
9 基金繰入金	1億9881
合計	3億0713

※千円単位は四捨五入

特別会計 (単位:万円)

項目	補正額	補正後予算額
1 国民健康保険	△1936	12億8309
2 後期高齢者医療	△284	10億3363
3 介護保険	86	12億0888
4 最上病院	1149	14億7995
5 介護老人保健施設	0	3億1788
6 水道	150	9968
7 簡易水道	321	1億8555
8 農業集落排水	51	1892
9 下水道	0	2億1096
10 浄化槽	0	8804
合計	△463	59億2658

※千円単位は四捨五入



謹賀新年

菅議長 議会の今年の目標、抱負を語る



▲菅 俊郎 議長

思いきった 人口減少対策が急務

昨今のマスコミ報道を待つまでもなく、何の対策もなければ近い将来、町の人口は半減することが予測されている。産業振興及び働く場の創出と住環境整備を強力に進める必要があると同時に、若い方々から当町は他町村より子育て支援や環境がよいと実感してもらえよう、例えば保育園・幼稚園の無償化の実現等の施策を進め、自他共に認める「子育て王国最上町」の具現化が急務である。昨年6月定例会に於いて町長に改めて提言し、平成27年度からの無償化を実現しなければならない。

町の基幹産業である 農業の問題について

米の概算金が大幅に下落し、町の経済に大きな影響があり、国の農業政策には改めて不信感が募る。只、町の農業政策は大筋で間違っていないものと思う。今我々がしっかり取り組まなければならぬ課題は、国の農政に振り回されることなく長期的視点に立ち、農地を荒廃から守り続ける施策の実現であると考え。同時に国には農業、農村、ひいては地域社会を守ることが国そのものを守ることにつながる旨、強く申し入りたい。

長年の懸案事業について

県境バイパスについては着工に向けこれまで以上に強力に要請して参りたい。又、穴あきダムについては小国川漁協のご協力もあり順調に進められており感謝申し上げます。今後は、最上小国川を住民共有の財産として守りながら交流人口拡大にもつながる活性化対策を構築する必要がある、そのための清流未来振興機構が立ち上がるうとしており、議会としても町民の代表として必要に応じ意見を申し上げていきたい。

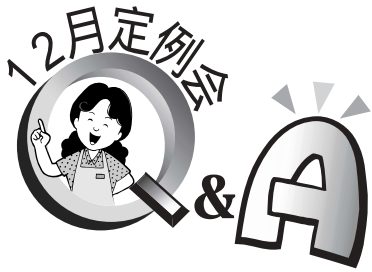
やるべき課題は数多くあるが、町民の幸せのために前向きに議員全員力を合わせ責任を果たして参りたい。

お柴灯作りをする赤倉の子どもたち

本年もよろしく
お願ひします

議員	菅 俊郎
副議長	佐澤 浩
議員	菅 征悦
議員	菅 博
議員	佐藤 義男
議員	石原 英一
議員	橋本 正
議員	渡邊 英俊
議員	大沼 正視
議員	二戸 守
議員	小林 守

当選回数順に掲載



議案審議

高齢者介護の予防支援事業 生きがいづくりと社会参加

■ 指定介護予防支援事業者の指定等について

Q 高齢者介護に関し、介護予防の方策は？
A 生きがいづくりと社

会参加を促せるよう教育委員会をはじめとして、社会福祉協議会等と連携して事業展開していく予定です。一例として、サロン活動や十日町や満沢の運動教室等が挙げられます。



▲ 活性化が求められる最上西公園

Q 条例を支える職員の体制は十分か？
東、西、向町地域のブロックに分けてきめ細やかな町民へのサービスは考えていないか？
A 検討してまいります。

Q この問題は一般会計特別会計の垣根を取り払ってやっていくべき問題では？
A この事業は特別会計にも予算立てしてありますが、現在作成中の「高齢者保健福祉計画」に基づき事業を展開してまいります。

■ 最上町一般職員の給与に関する条例の一部改正に伴う条例の制定

Q 平成27年度の一般会計が大幅に減少する中、なぜ一般職の給与が上がることか？そしていくらか増額になるのか？



▲ 最上町役場 職員の仕事風景

A 人事院及び県人事委員会の勧告を受けた一般職のベースアップもあり、そこにならったものです。尚、増額は1千896万868円となっております。

■ ウエルネスプラザ指定管理者の指定

Q 審査委員会の人数と氏名は？
A 委員は7名です。条例に基づき、副町長、総

補正予算

回歳入

Q ふるさと納税の増額の根拠は？

A 各課連携し、最上町の魅力ある商品を取り揃えることができたからです。これからもアイデアをしぼり、増収アップに力を注いでいく覚悟です。

回歳出

衛生費

Q 病院に1億5千342万4千円の繰出金の内訳は？

A 病床数に対し入院者数が減っているため、必要経費がかさむ結果となり、繰入れするものです。

Q 民間病院のように送迎することは考えていないのか？

A デマンド交通、スクールバスの併用なども考慮し、住民サービスの向上を検討いたします。

農林費

Q 畜産振興費の事業確認申請の許可が遅すぎ

るのでは？
A 農地転用の手続き、建築の構造計算の時間が必要としていますが、早く認可されるように進めています。

商工費

Q 機械等の修繕費の内容は？

A スキー場は2台で整備しており、大原車については点検の結果、使用不可であり、教育委員会が管理している同機種を使用することになりましたが、点検したところキャタピラの劣化により整備するものであります。

Q 赤倉温泉そぞろ歩き賑わい創出事業の内容は？

A 総務省過疎集落等自立再生対策事業を活用したもので、総事業費1千420万円で事業を実施しております。実施主体は、

「赤倉温泉振興対策協議会」が主体となり温泉の活性化に向けた取り組みを推進しております。

土木費

Q 地域一斉除雪費推進事業補助金の内容と対象集落は？

A 自治組織が行う一斉除排雪の際の重機や運搬車等への助成であります。昨年は、新田集落が実施しております。

水道事業会計

Q 水道事業特別会計修繕費内容は？

A 沢原配水地に設置してあります。電動弁と流量計の修繕費で、現在は手動にて流量調整を行っています。

簡易水道事業会計

Q 簡易水道200万円の補

人事

■ 最上町固定資産評価審査委員会
藤 畑 敬 美
(最上町富沢)

務課長、関係課長(3名)外部有識者(2名)で構成しました。

■ 最上西公園の指定管理者の指定について

Q 施設の老朽化、特に体育館などこれからの事業計画の進め方は？
A 中期、長期の考え方もあつて3年間で町の公的施設の在り方を国、県に報告することになっていく。含めて安全安心を一番に対応し努めていきます。



農地転用の遅れた畜舎建設現場

病院会計

Q 国保大黒柱検診料の収益減の理由は？

A 町内の国民健康保険加入世帯の減少傾向に加え、検診受診世代の被保険者が国保から社会保険に加入したためと思われる。

仙台圏交流の強化策は？高齢者と除雪の課題は？



小林 守 議員

町長答弁

仙台の課題を共有しながら戦略化、 克雪から利雪の除雪ツアーに

公園、東北六県パークでの物産市」などのイベントや仙台市の太白区にある富沢中学校、小出中学

問

「仙台圏もがみ町友の会」勾当台

④ 赤倉温泉の公平的活用を提言するがいかがか？

の推進

③ 似顔絵プロジェクト

② 仙台長町の「福祉事業の情報収集

① 長町・おいしいパン屋さんの活用

は？

プロジェクトの進み具合

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

は？

元気なまちづくり

プロジェクトの進み具合

人口減少を食い止める除雪の福祉についての考えは？

問

小林議員から提案のあったふるさと納税の活用については、

学校の教育旅行の誘致、二市二町の「東北センターライン未来プロジェクト」など横断的な結びつきを重視した取り組みを行っています。今後「最上町と仙台の連携」については、再生可能エネルギーの取り組み、巨木ツアー等を実施していく他、「人材ネットワークの構築」「情報発信」「企業家の進出」等をテーマに推進しています。その際に必要なのが、民間の方々の参画と異業種の知恵による官民一体の取り組みです。

答弁

1点目「元気な地域産業の振興」については平成27年度を目標年度とする「農業総生産額50億円」を確実に

2点目「少子化と若者定住対策」は保育料の無償化を平成27年度に導入してまいります。

3点目「安全安心な社会」の構築

4点目「健康と地域福祉」

5点目「教育の充実と地域文化の向上」

6点目「環境とエネルギー対策」

最後の政策課題である「健全財政」についても「選択と集中」をもって進めてまいります。

責任分担を明確にしていります。また「住民への最上町の温泉資源の積極的な開放」「除雪ツアー」は大いに意義あることだと思えます。特に「除雪ツアー」はすぐに商品化に組み入れること

ができません。来年度は関西からの高校のスキー旅行の問い合わせ、台湾からの農業視察などもあり、評価の高まる最上町の底力もあるので鋭意検討いたします。



▲ マサチューセッツと教育委員会（瀬見）



町政を問う

2 議員が一般質問

一般質問は、行政全般にわたる議員主導による政策議論であり、大所高所からの政策を建設的立場で議論し、効率的な会議運営が必要なことを十分理解し簡明で、しかも内容のある質問を展開するものです。

地域おこし協力隊との連携について

町長答弁 総力をもって支援をしていく

問

申請までもなく、地域の中で「雇用の場を確保し、移住・定住を確立」していくという第一義の目標の中、第一次隊が卒業し、第二次隊4名の方々が日々奮闘なされています。平成27年度は最終年度であり、人脈も金もない移住・定住者を農村で生活できる「成功モデル」をどう確立していくのかを連携と支援の体制やスケジュールについて伺います。

答弁

1点目「元気な地域産業の振興」については平成27年度を目標年度とする「農業総生産額50億円」を確実に

問

申請までもなく、地域の中で「雇用の場を確保し、移住・定住を確立」していくという第一義の目標の中、第一次隊が卒業し、第二次隊4名の方々が日々奮闘なされています。平成27年度は最終年度であり、人脈も金もない移住・定住者を農村で生活できる「成功モデル」をどう確立していくのかを連携と支援の体制やスケジュールについて伺います。

答弁

2点目「少子化と若者定住対策」は保育料の無償化を平成27年度に導入してまいります。

問

申請までもなく、地域の中で「雇用の場を確保し、移住・定住を確立」していくという第一義の目標の中、第一次隊が卒業し、第二次隊4名の方々が日々奮闘なされています。平成27年度は最終年度であり、人脈も金もない移住・定住者を農村で生活できる「成功モデル」をどう確立していくのかを連携と支援の体制やスケジュールについて伺います。

答弁

3点目「安全安心な社会」の構築

問

申請までもなく、地域の中で「雇用の場を確保し、移住・定住を確立」していくという第一義の目標の中、第一次隊が卒業し、第二次隊4名の方々が日々奮闘なされています。平成27年度は最終年度であり、人脈も金もない移住・定住者を農村で生活できる「成功モデル」をどう確立していくのかを連携と支援の体制やスケジュールについて伺います。

答弁

4点目「健康と地域福祉」

問

申請までもなく、地域の中で「雇用の場を確保し、移住・定住を確立」していくという第一義の目標の中、第一次隊が卒業し、第二次隊4名の方々が日々奮闘なされています。平成27年度は最終年度であり、人脈も金もない移住・定住者を農村で生活できる「成功モデル」をどう確立していくのかを連携と支援の体制やスケジュールについて伺います。

答弁

5点目「教育の充実と地域文化の向上」

問

申請までもなく、地域の中で「雇用の場を確保し、移住・定住を確立」していくという第一義の目標の中、第一次隊が卒業し、第二次隊4名の方々が日々奮闘なされています。平成27年度は最終年度であり、人脈も金もない移住・定住者を農村で生活できる「成功モデル」をどう確立していくのかを連携と支援の体制やスケジュールについて伺います。



▲ 地域行事に参加する地域おこし協力隊メンバー

所管事務調査

○総務文教常任委員会

東北自動車道を南下、予定を変更し、国道6号一般車両も通行可能になった原発周辺の浪江町と双葉町は、まるでゴーストタウンの様子だった。建物はそのまま、人ひとりいない。3年過ぎた今も津波の被害で放置された状態、国道以外はバリケード、警備員。バスの中で全員絶句し原発事故の恐ろしさを目の当たりにした。茨城県太子町に到着し、旧上岡小学校は120年前に建てられた校舎、今は映画やCM撮影、講習会等で年間1千200人が利用されていた。もう一つが「太子おやき学校」、校舎の面影を残し、2億9千万の費用を投じレストランから直売所までを経営していた。しかし黒字を出す事の困難さを実感した。



旧上岡小学校の教室にて研修

そして、今後の公共施設の在り方について地域総合整備財団を訪問した。その多くが昭和の時代に造られ老朽化が進んでいるため管理計画や重要度について活発な質疑応答を行い研修を終えた。今後も調査を行い、報告する。

○産業厚生常任委員会

国が進めようとしている「農政改革」によれば、これからの中心的な担い手は、「集落営農」組織と「認定農業者」と位置づけられている。平成27年度からは畑作物の直接支払交付金や、米・畑作物の収入減少影響緩和対策についても両者に限定される事等の中で、我が町に未だ設立されていない「集落営農」組織をどうすれば立ち上げる事ができるのか、又、その内容について11月12日〜14日にかけて下の先進地を訪問し調査研究をした。今後にもさらに調査を行う。



- 青森県大鰐町 「J Aつがる弘前大鰐支店大鰐営農組合」様
- 秋田県八峰町 「株式会社真瀬ファーム」様
- 山形県酒田市農林水産部農政課及びJ A庄内みどり酒田支店様

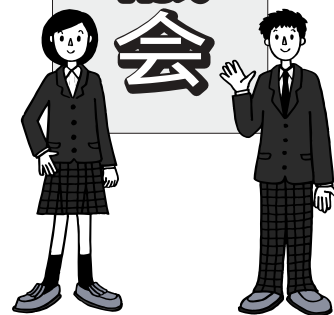
陳情・請願、意見書提出

項目	請願 そばの刈り取り強化の対策を望む請願	請願 農業改革に関する件について
提出者	最上町大字大堀 296 赤川 幸満 外5名	舟形町舟形 273-1 新庄もがみ農業協同組合 代表理事組合長 安食 賢一 新庄もがみ農業農政対策本部 本部長 安食 賢一
付託委員会	産業厚生常任委員会 紹介議員 伊藤 一雄	産業厚生常任委員会 紹介議員 二戸 守
結果	採択	採択
意見理由書	適期で収穫した地域と収穫量の違いに不公平を生んでいます。小回りの利く収穫体制と強化を望み請願致します。	地域農業や農村振興に果たしてきたJ Aの価値役割をご理解いただき、農家組合員の所得向上と地域の活性化につながるよう、政府に対し意見書の提出をお願い致します。
提出先	最上町長 高橋 重美	内閣総理大臣 財務大臣 外務大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 経済再生担当大臣



昨年引き続き11月21日に行われた「最上町こども議会」は、新庄北高最上校の生徒が奮闘しておりました。

高校生こども議会



一般質問では二人一組で、はじめの生徒が質問を行い、町長が答え、それに対し、もうひとりの生徒が再質問を行い、再び町長や関係課長が答える、というスタイルで行われました。

バイオマス事業、温泉活用、アスパラガスを中心とした農業振興など、多岐にわたる質疑応答となり、最上町の議会への関心がさらに高まったのではないかと期待しているところです。

議 会 の 動 き

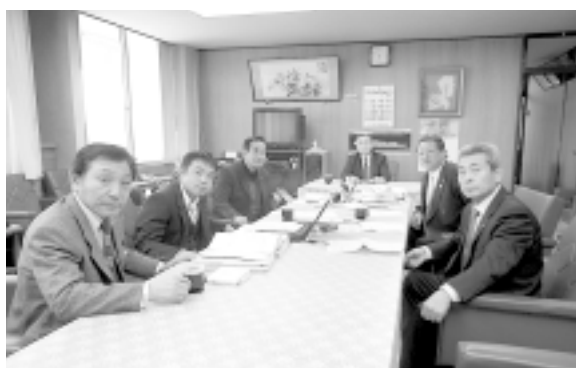
【月毎の主な日程】



総務文教常任委員会視察



産業厚生常任委員会視察



最上町議会広報編集会議

10月	11月	12月
2~3日 村山最上両町村議会議長会合同会議(中山町)	2日 仙台圏もがみまち友の会ふるさと交流会	2日 議会運営委員会 議会全員協議会
2~3日 町村監査委員全国研修会 表彰式(東京)	4日 県、市町村行政懇談会	4日 鳴成会との交流
6日 広域議会定例会 最上地方町村議会議長会例会	5~7日 総務文教常任委員会所管事務調査	5日 明神万騎の原地区防雪柵設置工事の完成を祝う会
7日 地域高規格道路「石巻新庄道路」早期実現の山形地方要望	7日 石巻新庄地域高規格道路整備促進期成同盟会中央要望	10~12日 全員協議会 12月定例会
8日 10月臨時会 産業厚生常任委員会 広報編集委員会	12日 町村議会議長全国大会 山形県議会総務常任委員会視察(定住促進等)	17日 広域議会運営委員会
13日 皇太子殿下行啓	12~14日 産業厚生常任委員会所管事務調査	18~19日 自治振興研修会並びに議長会
17日 最上地方町村議会議員研修会 伊藤議員総務大臣感謝状贈呈式	13日 町村議会議長行財政セミナー	
20日 山形県町村議会議員研修会	14日 最上地方議長会視察研修(神奈川県)	
21~22日 町村議会広報全国研修会	15日 最上地域ふるさと連合会総会(東京)	
29日 ふれあいの里メガソーラ竣工式	18日 定期監査 秋田県藤里町バイオマス視察	
30日 最上を拓く高規格道路建設促進合同大会 総務文教常任委員会	19日 定期監査 尾花沢市議会視察(定住対策等)	
	21日 議会全員協議会 高校生こども議会	
	26日 最上県勢懇話会 消防委員会	
	28日 議会運営委員会 11月臨時議会 最上校運営懇談会	

10月~12月の稼働日数53日 誌面の都合上、主な行事より抜粋し掲載

次回の定例会は3月です

お問い合わせは議会事務局まで ☎43-2362



編集後記

新年おめでとございませう。2014年を振り返れば、自然災害の多い年でありました。最上町は大きな災害は無かったと思われませんが、基幹産業である農業所得が米価の下落、戸別所得補償の半減に伴い3億8千万円程の減収に落ち込みました。必然と町税に反動が及び、2015年度予算額の縮小が予想され身の丈にあつた行政運営が求められます。昨年の総選挙の結果、自民党の「一強時代」が長期政権を担う情勢になったが、国の投票率は二人に一人が棄権した。政治不信、諦めに似た政治の空洞化であります。我町の町政運営は、そのような風潮にならないように決意を新たにいたします。(渡邊英俊)

【広報編集委員会】

- 委員長 二戸 守
- 副委員長 小林 守
- 委員 渡邊 英俊
- 委員 橋本 正
- 委員 大沼 正視
- 委員 佐澤 浩